



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 寺崎電気産業株式会社
コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺崎 泰造
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 池田 康孝

TEL 06-6692-1131

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	28,459	0.2	2,220	4.2	2,587	△1.2	1,199	△36.1
27年3月期第3四半期	28,397	4.7	2,131	50.2	2,620	38.7	1,877	27.3

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 351百万円 (△88.7%) 27年3月期第3四半期 3,118百万円 (19.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	92.10	—
27年3月期第3四半期	144.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	43,906	26,868	61.1	2,059.33
27年3月期	44,793	26,674	59.5	2,044.00

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 26,830百万円 27年3月期 26,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,300	3.8	3,280	△0.7	3,570	△8.0	2,440	△8.7	187.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	13,030,000 株	27年3月期	13,030,000 株
28年3月期3Q	1,021 株	27年3月期	1,021 株
28年3月期3Q	13,028,979 株	27年3月期3Q	13,028,979 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、新興国、資源国において弱さがみられるものの先進国を中心に総じて緩やかな回復基調となりました。米国では、ドル高や新興国経済の減速などによる影響等から輸出や設備投資にやや弱さがみられますが、個人消費を中心にした内需の成長は続いており、回復基調が持続しました。欧州では、新興国経済の減速に伴う輸出の伸び悩み等により回復ペースに鈍さがみられますが、消費主導の緩やかな回復基調が持続しました。新興国経済は、中国では景気は緩やかに減速しており、他の地域でも中国経済の減速の影響がみられるほか、資源国においても弱さが見られました。

一方、わが国経済は、企業収益、雇用は改善の動きも見られますが、新興国経済の減速の影響により輸出、生産に弱さが見られ、景気の回復の基調はやや横ばいの動きとなりました。

当社グループをとりまく経済環境は、国内における民間設備投資においては、内需の停滞や外部環境の不透明感から力強さを欠く状況が続きました。海外においては、インフラ市場の需要は新興国を中心に堅調に推移しました。当社の主要顧客である造船業界において、国内においては、船体構造に関わる新規制、窒素酸化物3次規制の適用前の駆け込み需要等を背景に一定量の受注がありましたが、海外においては、海運市況の悪化に伴うばら積運搬船の需要の減少、原油価格下落に伴う海洋掘削市場の低迷等により受注量は大幅に減少しており厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は284億59百万円と前年同期比0.2%の増収となりました。利益面では、営業利益は、原価低減等の収益改善の効果、原材料価格の安定もあり、22億20百万円と前年同期比4.2%の増益となり、経常利益は、為替変動の影響等もあり、25億87百万円と前年同期比1.2%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失にて本社移転に伴う本社賃貸借契約の解約損及び移転損失引当金繰入費用を計上したことに伴い、11億99百万円と前年同期比36.1%の減益となりました。

なお、製品別の連結売上高は、システム製品（配電制御システム等）が146億70百万円と前年同期比8.0%の増収、機器製品（低圧遮断器等）が137億89百万円と前年同期比6.9%の減収となりました。

当社グループのシステム製品の連結受注高は、中国造船市場の受注量低下の影響を受けながらも、その他の市場でコンテナ船、LNG船等の受注もあり、前年同期を11.5%上回る172億4百万円となりました。その結果、連結受注残高は前連結会計年度末より25億34百万円増加し、223億34百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

「日本」

船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）は、国内船舶向けのばら積運搬船の売上が前年同期に比べ増加し、海外造船所向け大型タンカーの売上を計上したことに加え、その他の船種、陸電供給システムの売上も一定量の売上があり、売上が前年同期に比べ増加しました。

産業用システム製品（配電制御システム）は、鉄道関連施設向け配電制御システム等の売上もありましたが、コージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連の売上は伸び悩み、売上が前年同期に比べ若干減少しました。

医療関連機器製品は、医療機器では、売上が増加し、また臨床検査機器では、新機種を本格展開したことによる効果及び保守部品の納入もあり、売上は増加しました。この結果、医療関連機器製品全体でも、売上が前年同期に比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、船舶向けの各種点検、コミッションング作業が堅調に推移し、売上が前年同期に比べて増加しました。

この結果、システム製品全体の売上は前年同期に比べ増加となりました。

機器製品（低圧遮断器等）は、国内向けでは、マーケットの停滞により、新エネルギー分野における直流ブレーカの需要を含め売上が減少し、海外向けについても、オセアニア地域、東アジアの船舶市場向けの売上減少等により、機器製品全体の売上は、前年同期に比べ減少しました。

その結果、当セグメントの第3四半期連結累計期間の売上高は165億51百万円と前年同期比1.1%の増収、セグメント利益は機器製品の売上減少等により、14億48百万円と前年同期比18.2%の減益となりました。

「アジア」

船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）は、海運市況の悪化に伴い中国造船市場向けにおいて、納期繰延物件等もあり、売上は前年同期に比べ若干減少しました。

機器製品（低圧遮断器等）では、マレーシア国内向けについてはプロジェクト案件等もあり堅調に推移しましたが、他の地域は総じて市況停滞の影響により、売上は前年同期に比べ減少しました。

その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は82億23百万円と前年同期比4.0%の減収、セグメント利益は米ドルに対する現地通貨安等により、11億37百万円と前年同期比17.1%の増益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品（低圧遮断器等）は、英国内の売上は減少しましたが、中近東向けが堅調に推移し、ライフサイクルビジネスの売上が増加したことにより、売上は前年同期に比べ増加しました。

その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は36億3百万円と前年同期比8.4%の増収、セグメント利益は収益性の高いライフサイクルの売上が増加したこと等により、1億85百万円と前年同期比200.9%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、現金及び預金が前期末比5億42百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が前期末比17億63百万円並びにたな卸資産が前期末比1億58百万円それぞれ減少したこと等により、流動資産は前期末比12億28百万円減の315億89百万円となりました。固定資産では、無形固定資産が前期末比6億64百万円及びその他の投資等が前期末比1億45百万円それぞれ減少した一方、有形固定資産が前期末比11億71百万円増加したこと等により、前期末比3億41百万円増の123億17百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比8億86百万円減の439億6百万円となりました。

負債の部では、その他の流動負債が前期末比3億30百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が前期末比4億13百万円、未払法人税等が前期末比4億1百万円及び短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が前期末比1億56百万円それぞれ減少したこと等により、流動負債は前期末比7億15百万円減の127億18百万円となりました。固定負債では、その他の固定負債が前期末比2億99百万円増加した一方、役員退職慰勞引当金が前期末比2億30百万円及び長期借入金が前期末比2億26百万円それぞれ減少したこと等により、前期末比3億65百万円減の43億18百万円となりました。

この結果、負債合計は前期末比10億80百万円減の170億37百万円となりました。

純資産の部では、為替換算調整勘定が前期末比6億54百万円、退職給付に係る調整累計額が前期末比1億39百万円及びその他有価証券評価差額金が前期末比49百万円それぞれ減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益11億99百万円の計上等により利益剰余金が前期末比10億43百万円増加したこと等により、純資産合計は前期末比1億94百万円増の268億68百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月13日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,506,021	9,048,767
受取手形及び売掛金	15,005,748	13,242,361
有価証券	-	15,150
商品及び製品	3,785,511	3,274,090
仕掛品	2,707,968	3,077,330
原材料及び貯蔵品	1,601,640	1,585,442
繰延税金資産	604,530	525,242
その他	708,728	969,561
貸倒引当金	△102,321	△148,854
流動資産合計	32,817,826	31,589,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,534,622	6,385,624
減価償却累計額	△3,554,964	△3,560,796
建物及び構築物 (純額)	2,979,658	2,824,828
機械装置及び運搬具	5,461,427	5,411,079
減価償却累計額	△4,792,705	△4,656,982
機械装置及び運搬具 (純額)	668,722	754,097
工具、器具及び備品	6,770,985	6,808,897
減価償却累計額	△6,389,036	△6,449,678
工具、器具及び備品 (純額)	381,948	359,218
土地	3,071,443	3,025,821
リース資産	70,087	66,653
減価償却累計額	△51,239	△53,220
リース資産 (純額)	18,848	13,433
建設仮勘定	199,007	1,513,924
有形固定資産合計	7,319,629	8,491,324
無形固定資産		
その他	899,628	235,306
無形固定資産合計	899,628	235,306
投資その他の資産		
投資有価証券	701,699	631,086
退職給付に係る資産	2,506,727	2,574,941
繰延税金資産	247,302	229,860
その他	432,404	286,937
貸倒引当金	△132,146	△132,277
投資その他の資産合計	3,755,987	3,590,548
固定資産合計	11,975,245	12,317,178
資産合計	44,793,072	43,906,270

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,311,315	6,897,516
短期借入金	630,000	630,000
1年内返済予定の長期借入金	799,336	643,070
未払法人税等	693,063	291,775
製品保証引当金	185,941	163,114
本社移転損失引当金	-	46,000
未払費用	2,223,065	2,124,654
その他	1,591,920	1,922,665
流動負債合計	13,434,642	12,718,796
固定負債		
長期借入金	2,959,000	2,732,400
繰延税金負債	870,050	679,609
役員退職慰労引当金	230,138	-
退職給付に係る負債	510,613	493,036
その他	113,870	413,600
固定負債合計	4,683,672	4,318,647
負債合計	18,118,314	17,037,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	19,879,198	20,922,846
自己株式	△1,433	△1,433
株主資本合計	23,359,055	24,402,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,235	249,194
為替換算調整勘定	1,181,683	526,820
退職給付に係る調整累計額	1,792,199	1,652,250
その他の包括利益累計額合計	3,272,118	2,428,265
非支配株主持分	43,584	37,859
純資産合計	26,674,757	26,868,827
負債純資産合計	44,793,072	43,906,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	28,397,839	28,459,778
売上原価	20,027,222	20,016,191
売上総利益	8,370,617	8,443,587
販売費及び一般管理費	6,239,324	6,222,948
営業利益	2,131,292	2,220,638
営業外収益		
受取利息	40,067	61,769
受取配当金	16,945	16,357
為替差益	321,111	473,672
その他	157,567	81,539
営業外収益合計	535,692	633,338
営業外費用		
支払利息	35,176	23,089
デリバティブ評価損	-	230,587
その他	11,764	12,478
営業外費用合計	46,941	266,156
経常利益	2,620,043	2,587,821
特別利益		
固定資産売却益	11,991	1,512
特別利益合計	11,991	1,512
特別損失		
固定資産売却損	266	14
固定資産除却損	40,055	92,056
賃貸借契約解約損	-	720,000
本社移転損失引当金繰入額	-	46,000
特別損失合計	40,322	858,070
税金等調整前四半期純利益	2,591,712	1,731,263
法人税、住民税及び事業税	456,117	544,992
法人税等調整額	260,953	△9,499
法人税等合計	717,070	535,492
四半期純利益	1,874,641	1,195,770
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,336	△4,224
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,877,978	1,199,995

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,874,641	1,195,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110,001	△49,041
為替換算調整勘定	1,190,623	△654,862
退職給付に係る調整額	△56,779	△139,949
その他の包括利益合計	1,243,846	△843,853
四半期包括利益	3,118,487	351,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,121,824	356,142
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,336	△4,224

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,377,120	8,562,676	3,323,031	28,262,829	135,010	28,397,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,999,385	2,895,665	32,997	6,928,049	-	6,928,049
計	20,376,506	11,458,342	3,356,029	35,190,878	135,010	35,325,888
セグメント利益又は損失(△)	1,771,028	971,705	61,534	2,804,268	△58,446	2,745,821

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,804,268
「その他」の区分の損失(△)	△58,446
セグメント間取引消去	△48,070
全社費用(注)	△566,458
四半期連結損益計算書の営業利益	2,131,292

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,551,577	8,223,016	3,603,065	28,377,658	82,119	28,459,778
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,605,200	2,565,765	18,731	6,189,696	-	6,189,696
計	20,156,777	10,788,781	3,621,797	34,567,355	82,119	34,649,475
セグメント利益又は損失(△)	1,448,019	1,137,803	185,152	2,770,976	△53,592	2,717,383

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,770,976
「その他」の区分の損失(△)	△53,592
セグメント間取引消去	37,533
全社費用(注)	△534,277
四半期連結損益計算書の営業利益	2,220,638

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。